



友の会だより No.43

(2020年9月30日発行)

自転車文化センター

〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-1

TEL 03-4334-7953 / FAX 03-4334-7958

Email bccask@jifu.jp

OPEN 9:30~17:00 (最終入館 16:45)

CLOSE 月曜日(祝日の場合は翌平日)

令和2年度第3回テーマ展示

【競輪の魅力展】

■開催期間：令和2年9月30日(水)～12月27日(日)(予定)

■開催場所：自転車文化センターギャラリー・ライブラリー

■開催時間：9:30～17:00 (最終入館 16:45) 【※注】

■休館日：月曜日(但し、月曜日が祝日の場合は、翌平日)

■入館料：無料

■展示内容：当センターが所有する歴史的貴重な「競輪」に関する自転車や資料の展示、並びに男子・女子トップ競輪選手のそれぞれの自転車・ウェア等の展示。

「競輪」の歴史を振り返り「競輪」とは!?初心者にも分かりやすくパネルや画像、映像を交えた展示「競輪」の情報が盛りだくさんです!! ご来館お待ちしております♪

【※注】新型コロナウイルス感染拡大防止を受けて、現在、開館時間 11:00/閉館時間 15:00 に変更しております。開閉館時間につきましては、随時、当センターHP等にてお知らせいたしますのでご利用の際は、そちらをご確認いただきご来館くださいますようお願いいたします。



脇本雄太選手
[S級S班]



新田祐大選手
[S級S班]



京王閣競輪場



小林優香選手
[L級1班]



橋本英也選手
[A級2班]

『2021 ハンドメイドバイシクル展』

開催についてのお知らせ

例年会場(1月～2月)にて開催しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえて、開催については、現在検討している状況です。開催につきましては、決まり次第HP等にてお知らせいたします。

新着図書のご案内

「自転車大好きNo.1」(ブックショップマイタウン)
「MOUNTAINBIKE ACTION 34-8」
「自転車サビとり再生術」(柊出版社)
「自転車大好きNo.2」(ブックショップマイタウン)
「MOUNTAINBIKE ACTION 35-9」
「BROMPTON メンテナンスブック」(辰巳出版)
「最速ヒルクライマー8人が教えるヒルクライムテクニック」(日東書院本社)
「自転車道総集編 Vol.01」(八重洲出版)
「e バイク遊び方大全」(八重洲出版)
「サイクリストのためのストレングスとコンディショニング」(東京書籍)
「自転車日和 56」(辰巳出版)
「ツール・ド・フランス公式プログラム」(八重洲出版)
「弱虫ペダル 68」(渡辺航 著/秋田書店)
「果てまで走れ! 157 ヲ月、自転車で地球一周 15 万キロの旅」(小口良平 著/河出書房新社)
「親子二代予想屋/「競輪」七十年史」(松垣透 著/彩流社)
「MOUNTAINBIKE ACTION 35-10」

♪BCC休館日のお知らせ♪

★月曜日休館〔祝・祭日の場合は翌平日〕

10月5日・12日・19日・26日

11月2日・9日・16日・24日(火)・30日

12月7日・14日・21日・28日

◆年末年始につきましては、11 月中に HP にてお知らせします♪

「BCC友の会」会員募集中♪

自転車に関する書籍など、約 11,500 冊以上を所蔵しています。会員登録をしていただいた方に限り、図書の自由閲覧をすることができます。会員各位におかれましては、ご友人様などご紹介頂けたら幸いです。

「BCC友の会 1 日利用システム」♪

現在、皆様にもっと当センターを活用して頂きたく【1 日ご利用システム】を設置しております。是非、ご利用してみたいかがでしょうか!? ご利用の詳細は、BCCHP 又は BCC までお問い合わせください。

～友の会会員証有効期限のお知らせ～

『会員証』更新につきましては、入会日から2年間、ご来館のない場合は、無効となりますのでご注意ください。また、再入会の場合は、新たに入会手続きが必要となります。有効期限などご不明の場合は、BCCカウンタースタッフまで、お問い合わせください。

自転車文化センターにご来館の際は、必ず会員証をカウンターまでご提示ください♪



科学技術館入館チケット（招待券）プレゼント！

科学技術館（千代田区北の丸公園）「2F 自転車広場」には、当センター所蔵の歴史的自転車などの常設展示を引き続き行っております。ぜひお立ち寄りください。

♡友の会会員の方に科学技術館入館チケット(招待券)を先着10名様（お一人様2枚まで）に差し上げます。

自転車文化センター(目黒)にご来館のうえ、インフォメーションカウンターまでお申し出ください。

※:現在、入館については、予約サイトからの入館予約が必要となりますのでご注意ください。

BCC 新型コロナウイルス感染防止対策

※ご入館の際に、手の消毒並びにライブラリー・ギャラリーカウンターにて非接触タイプの体温計を用い、ご来館者の体温を確認させていただきます。検温の結果、37.5℃以上の発熱が確認された場合、入館をお断りさせていただきます。

※来館者の把握と記録の為、入館用紙記入のご協力をお願いしております。氏名、連絡先（同伴者全員）ご記入ください。（ご記入いただいた情報は、自転車文化センターにて保管し、新型コロナウイルス感染症対策を目的として、保健所等公的機関への情報提供以外は使用いたしません。）

※入館後に、咳が止まらない等の症状が確認された場合、当施設責任者の判断によりご退館いただく場合がございます。

※ご来館の際にはマスクの着用をお願いいたします。

米国シアトルの自転車事情

《パートⅠ》

BCC サイクルアドバイザー

森下 昌市郎

友の会の会員の皆様はじめまして。この4月から自転車文化センターでサイクルアドバイザーとして勤務しています森下と申します。今年は新型コロナウイルスによる行動自粛の影響で、自転車文化センターでも予定されていたイベントや展示企画にも大きな影響が出ました。また、4月から6月にかけて臨時休館となり友の会会員の皆様もご来館いただけない状態でしたが、その中で「19世紀末の自転車ポスター展」、「自転車月間展」、「ランドナー自転車展」などについて、YouTube上に動画を公開していくなどできるだけ情報の公開に努めました。現在は、再開館したとはいえ開館時間を短縮しており、まだまだ先が見通せない中ですが、今後も新しい手法などを積極的に活用しながら会員の皆様に自転車の情報をお伝えできればと思っています。

今回の新型コロナウイルスの蔓延のすこし前の2月に私は所用でアメリカ西海岸ワシントン州のシアトルに滞在していました。シアトルにはここ5～6年間に3回ほど短期滞在していますが、今回はその時に見たシアトル市内でのシェアバイクについて、日本でもコロナ禍に伴い交通手段としての自転車の活用が盛んになってきている現状から、何か参考になることがあるのではと思い、ご紹介させていただきます。

・シアトル市内の交通について

米国というと自動車交通が主流ですが、市内中心部ではライトレールと呼ばれる路面電車やモノレール、メトロと呼ばれる路線バスなどが利用されています。自転車も通勤や通学時間帯には多く目にします。隣のオレゴン州のポートランド（シアトルからは自動車ですら3時間くらい）は、全米の中でも自転車に優しい街づくりで有名ですが、シアトルも中心部にあるユニオン湖の周りには、サイクリングロードが整備されています。毎年6月にここシアトルからポートランドまでの200マイル（約320km）を走る全米十指に入るライドイベント、STP（Seattle To Portland）も開催されていますが、今年は新型コロナウイルスの関係でバーチャル開催となりました。

・シアトルのシェアバイク事情

シアトル市内のシェアバイクは、2015年頃には市内の各所にステーションを設けて、そこを起終点にしてネットワークを組む「PRONT!」というシェアバイクサービスが行われていました。（写真①～③参照）当時の料金は24時間で8ドル、または3日間で16ドルと短時間の利用は考えられていないようでした。これは実験的なプログラムだったようで、2020年には既に行われておらず、代わって市内の各所にはJUMPと書かれた赤色の電動アシスト自転車が置かれていました。このJUMPというシェアバイクサービスは、当初は日本でも有名なUber社が運営していましたが、現在はLIMEという会社が運営を引き継いでいます。使い方は簡単、建物前などに設置されたバイクラックや歩道上に駐車しているシェアバイクをスマホアプリで解錠して利用するものです。アプリ上の地図にはどこに利用可能なシェアバイクがあるかが表示され、少し遠い所に乗り捨てられたバイクは利用料金が割引される仕組みになっており、回収コストの低減が図られているようでした。（写真④～⑥参照）利用料金は、自転車を解錠すると1ドル、利用中1分につき36セントが課金されるようで、主に市内中心部の短距離・短時間での利用を想定しているようでした。

ワシントン州では、自転車乗車中はヘルメット着用が義務付けられており、以前のPRONT!ではステーションに共用ヘルメットロッカーがあったのですが、JUMPでは、このようなものは無く利用者がヘルメットを持ち歩いているようでした。

シアトル市では、市の交通局（SDOT）がホームページなどでシェアバイクの利用について統計を発表しています。参考までにSDOTのリンクを記します。

<https://sdotblog.seattle.gov/2020/04/16/2-2-million-rides-on-bike-share-last-year/>

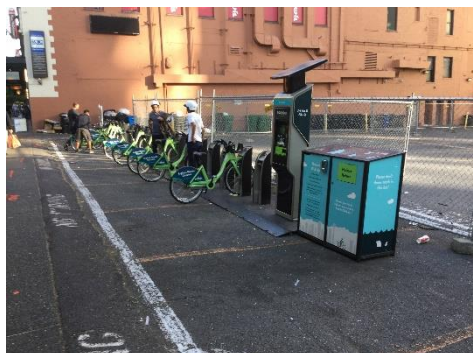
シアトル市のこのようなシェアバイク利用方式（市ではフリーフローティング式と呼んでいます。）を2017年から行ってきて、2019年には約220万回の利用があり、市民の4人に1人はシェアバイクを利用しているとされています。

課題としては、シェアバイク利用後の歩道や道路上、建物入り口付近への放置が問題となっているよ

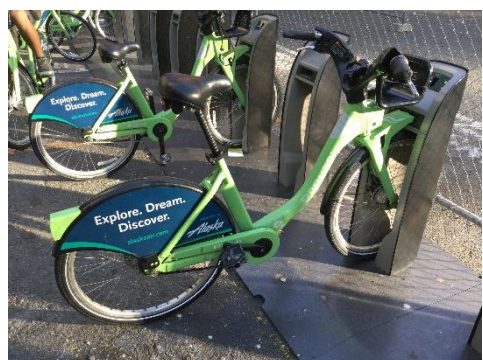
うでした。これに対しては問題のある駐輪の状況をアプリで写真付きで市や運営会社に通報する対策が取られているようでした。

日本とは少し異なるシアトルのシェアバイク事情はいかがでしたか。何か参考になれば幸いです。

次回《パートⅡ》では、シアトル市内のバイクレーン（自転車専用通行帯）についてご紹介したいと思います。楽しみに！



写真① 「PRONT!」のバイクステーション。1 か所で10～15 台程度が確保されている。(2015 年撮影)



写真② 自転車は1 台ずつロックされており、番号入力で解錠する。(2015 年撮影)



写真③ 共用のヘルメットロッカー。左側が未使用（キーパッドで解錠する）利用が終わったら、右側に投入する。(2015 年撮影)



写真④ 市内中心部のウェストレーク公園前の歩道に置かれたシェアバイク (2020 年撮影)



写真⑤ ライトレール停留所に置かれたシェアバイク (2020 年撮影)



写真⑥ 放置されたシェアバイクは、定期的に回収されて再配置されている。(2020 年撮影)

自転車文化センターは、競輪の補助を受けて事業を行っております。